

戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）  
『次世代農林水産業創造技術』推進委員会（第4回）議事要旨

1. 日 時 平成27年 5月27日（水）10：00～11：30
2. 場 所 中央合同庁舎第4号館4階 共用第2特別会議室
3. 出席者：（敬称略）

久間 和生 総合科学技術・イノベーション会議 有識者議員

（議長）西尾 健 内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付プログラムディレクター

サブ・プログラムディレクター

野口 伸 北海道大学 大学院農学研究院 教授  
佐々木 卓治 東京農業大学 総合研究所 教授  
阿部 啓子 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授  
小野 拓邦 東京大学 名誉教授

戦略コーディネーター

西口 修 (株)日立ソリューションズ 空間情報ソリューション本部 GIS部 部長  
山本 正美 タキイ種苗株式会社 茨城研究農場長  
山野井 昭雄 味の素株式会社 社友（元副社長）

守山 宏道 内閣府宇宙戦略室 参事官  
田沼 知行 総務省情報通信国際戦略局技術政策課 企画官（代理：北村 隆雄 課長補佐）  
宇都宮 仁 国税庁課税部 鑑定企画官  
堀内 義規 文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 課長  
原 克彦 文部科学省研究開発局 環境エネルギー課 課長  
安岡 澄人 農林水産省大臣官房政策課技術調整室 室長  
寺田 博幹 農林水産省農林水産技術会議事務局技術政策課 課長  
鈴木 富男 農林水産省農林水産技術会議事務局技術政策課 技術安全室 室長  
田中 健一 農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課 産学連携室 室長（代理：田熊 秀行 課長補佐）  
中谷 誠 農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官（食料戦略、除染）室 研究統括官  
河内 幸男 農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官（食の安全、基礎・基盤）室 研究開発官  
柚山 義人 農林水産省農林水産技術会議事務局研究開発官（環境）室 研究調整官  
板倉 茂 水産庁増殖推進部研究指導課 参事官  
塩見 篤史 経済産業省産業技術環境局研究開発課 未来開拓研究統括戦略官  
新階 央 経済産業省製造産業局生物化学産業課 産業分析研究官  
吉川 和身 環境省総合環境政策局総務課 環境研究技術室 室長（代理：嶋田章係員）  
牧野 竹男 農研機構生研センター企画部企画第1課 課長  
古市 喜義 科学技術振興機構経営企画部 研究監

## 事務局

松本 英三	内閣府 科学技術・イノベーション担当	審議官
福田 敦史	内閣府 科学技術・イノベーション担当	参事官
山田 広明	内閣府 科学技術・イノベーション担当	企画官
木澤 悟	内閣府 科学技術・イノベーション担当	上席政策調査員
中村 真人	内閣府 科学技術・イノベーション担当	研修員

## 4. 議題

- 1 平成26年度評価結果について
- 2 研究開発計画について
- 3 平成27年度における対応について
- 4 その他【非公開】

## 5. 配付資料

- 資料1 平成26年度評価結果（農業部分抜粋）  
資料2 SIP次世代農林水産業創造技術研究開発計画（2015年5月21日）  
資料3 平成27年度におけるSIP次世代農林水産業創造技術の対応

## 6. 議事要旨

- 1 平成26年度評価結果について
- 2 研究開発計画について
- 3 平成27年度における対応について
- 4 その他【非公開】

議事に先立ち、久間議員より、SIPをとりまく状況、当課題を推進する上での留意事項、当課題への期待について、ご挨拶があった。

議事の進行は、議長の西尾PDによる。

1. 平成26年度評価結果について  
資料1に基づき、事務局から説明がなされた。

西尾PDより、評価結果への対応について、以下の発言があった。

### 【西尾PD】

- ・総花的に見えるという指摘に対しては、コンソーシアムの連携を具体的に進め、全体的な連携の姿を見せていくことが重要。研究者の意識もそのように誘導していくことも重要。
  - ・生産者、消費者に対するアプローチが不十分という指摘に対しては、成果の利用者である生産者、消費者を意識した成果の出し方をより意識する必要がある。
2. 研究開発計画について  
資料2に基づき、研究開発計画の修正部分（2015年において取り組むポイント、2015年度予算の追記）を中心に事務局から説明がなされた。
  3. 平成27年度における対応について

資料3に基づき、評価結果等を踏まえ、課題を推進する上で、留意する点について、事務局から説明がなされた。

西尾 PD より、平成27年度における対応について、以下の発言があった。

【西尾 PD】

- ・ 研究管理ワーキンググループ等の場でも常に言っているが、コンソーシアム間や研究者間の連携を強化していく。
- ・ 関係府省には、市場ニーズや生産現場のニーズ等を踏まえた研究開発が行われるよう、研究管理ワーキンググループの中で、研究機関に対してアドバイスをお願いしたい。

4. その他【非公開】

以上